

令和8年度第2回奈良市プロポーザル方式採否審査会会議録			
開催日時	令和8年5月11日（月）午後1時15分から		
開催場所	奈良市役所 中央棟5階 秘書課会議室		
出席者	委員長	鈴木副市長	
	委員	真銅副市長 小西総務部長 奥村法令遵守監察監 谷田市民部長 秋田環境部長 増田都市整備部長 稲場建設部長 若林教育部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	福祉政策課
議題 又は案件	奈良市認知症高齢者等 AI 相談事業		
決定又は取り纏め事項	採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1. 議事の概要			
(1) 業務の目的 認知症等に関する不安や悩みを抱える当事者および家族が、時間や場所を問わず匿名で気軽に相談できる環境を整備し、相談への心理的ハードルを低減することで、早期支援につなげるとともに、家族介護者の心理的・実務的負担の軽減を図ることを目的とする。			
(2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由 本事業は、認知症に関する相談等、デリケートかつ専門性の高い領域において、AI技術を活用した24時間体制の相談支援体制を構築しようとするものである。単なるシステム導入にとどまらず、介護者の心理的負担を的確に汲み取る高度な自然言語処理技術や、個々の状況に応じた適切な専門機関へ繋ぐための判断ロジックが不可欠となる。 また、高齢者や多忙な家族が直感的に利用できる優れた操作性（UI/UX）や、機微な個人情報扱うための強固なセキュリティ体制、さらには運用開始後のAIの学習精度向上に関する知見など、価格のみでは評価し得ない事業者の独創的な提案力と高度な技術力が事業の成否を分ける。 したがって、本事業の目的を深く理解し、利用者の安心感と利便性を最大化できる最適な解決策を総合的に評価し、最も優れた能力を有する事業者を選定するため、プロポーザル方式を採用するものである。			
2. 審議 受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。			
3. 結論 プロポーザル方式を採用した。			